

博覽會見聞錄

特39

322

共
七
本



042191-001-9

特39-322

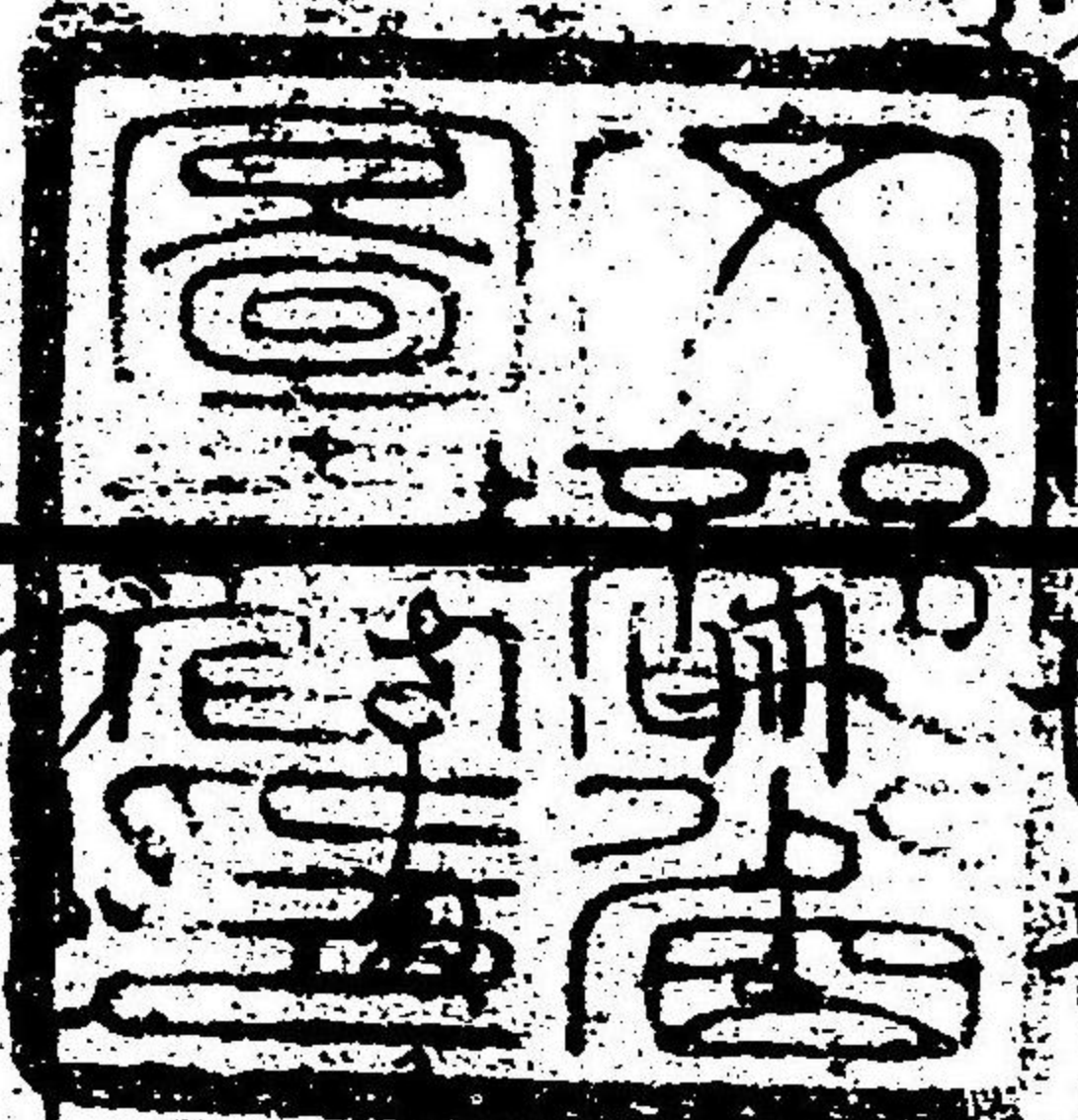
博覽會見聞錄

[出版者不明]

M7

BDI-1283





序

奥地の博覧會のりやうハあらや一を筆記ニ
 あり一出版したまはるれハたゞそあり
 をあるせるのそありさて諸國の出品人い
 もそあるの地よできふもの人の細工あ
 作り一のを持する七万をうそふおよびたり
 くれをそあるとあういて二十六区とあ一別
 増加の博覧會暫時の博覧會等ありてはる
 りそのうちよハ工場の巧とあるものそ際
 の英
 一きのの廣大あるものめづる一きのの等あは

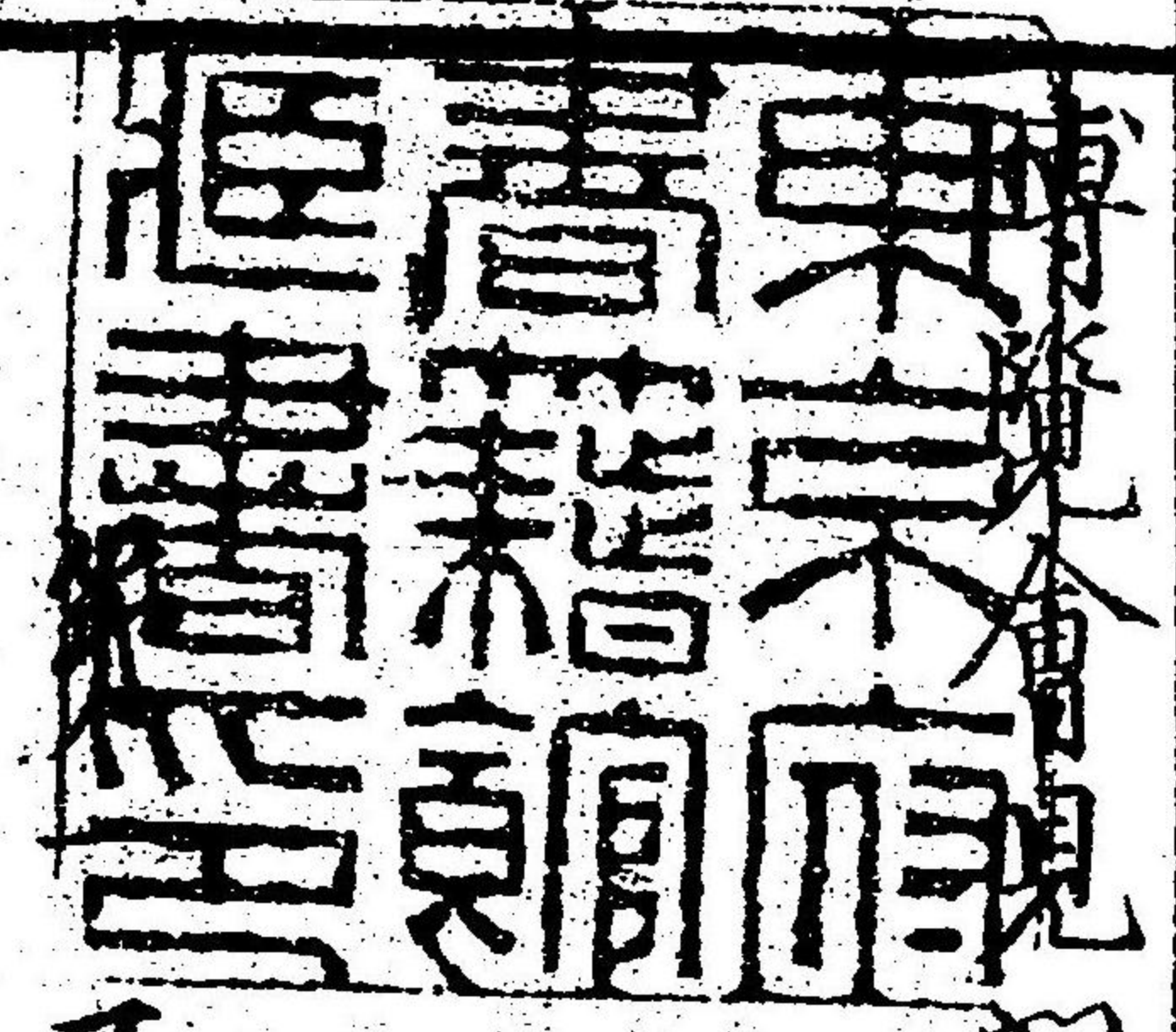
目録

五

たあま今諸國の出品の目よ觸きたるものまほ
ふ志さぐふてやさしく書志る一世の人よふさ
但し出品ハ右の如く黠しく志てさぐらふの事よ
ハゆくそ一分をも知る事かしくさばくよ志
ふきものハ又唯そのあらま一の事

明治七年一月

博覽會事務官



博覽會現
河録卷之一

礦山をひしく業山よりりづるりりくの
産物金屬を製する法等々の事たる區
あり

金銀銅鉄を主とめ石炭硫磺あどの如き人唱日
用よあくて叶ハぬものハ皆山より堀り出さる
のふくかやうあるもの出る山ハ諸國あ

りされども其國の人民心は骨をさす
してあるときのおのがちから城壁をふる道
程あり富にゆきあがる國とあるべき城をさす
り貧しきも偏るものあり西洋の諸國めくぬい
づきも深く心を用お其地この山嶽吟味し金
銀銅鉄石炭等のほるのあらうらをりし先こ
色を堀り出さふもあるべきだけ便利のよき法
を考へあるひの大仕掛の入用あるとらうら改
府より世話をあし富める人大勢仲買を結び
て仕掛城作り又主筋の學問城まがる者ハある

だけ便利ある道具を工夫し日夜おこころさ
まばこのたびの博覧會もその産物のよら
きと其法の妙あると試示し毎年堀り出さすの
の高他國へ交易も出さ高き城まがるべ年々次
お出精していよく盛んおあるありさゆを中出
て磨り城得んときをふたり

地地利旬加利獨乙の諸國英吉利佛羅西白耳時以
太利瑞典德同等の國とわ其國よりより礦山多
く人民も油砂かくらねをひらくお心を用お製
造所もわさかびちびくあまば出ふる盛なる

を極めたり魯西亜も近年ハこれより力を用うる
 由其出亦又かびとて一きく中一区の出亦ハ程
 こまりに穀や草ふ一其亦一穀ハ石炭チヤン等
 凡そ山より出出たりたるものふく燃る性のある
 りの自然ぬできたる油の國のふさう其亦二
 鉄の鉄及び鉄を吸きやく産き礦石を好いりく
 のか亦の鉄亦三穀を産いり山より出づる
 産の鉄亦四穀は自然ぬ混合したるもの亦
 の鉄ハかより礦山の事よりの圖取又も礦
 山測定の事等亦六穀は地の下に物よりの

工業亦七穀はこれより入用ある諸道具あり
 近年ハ蒸氣の機械づく盛んふなり蒸氣車蒸
 氣船ハさるなり木挽機械紙を漉き粉を挽き麵
 糰細工を亦一活字版をまたたて鉄細工をさる
 等も用うるも石炭は多くて叶ハぬりのとあり
 又鉄を熔くも亦一の入用亦あるは諸國に
 石炭山をひらく事をつとむ石炭ハ亞米利加の
 合衆國英吉利佛系西是烟葡萄牙瑞典白耳時獨
 乙澳地利匈加利魯西亞土耳其ローマニヤトキ
 ス支那等の國より出品せり

と見分けがさうりき

西洋ふてハ漆の用りつともひろく蒸気の機
 種々の又物あるハ磁石などの如きかからん
 漆ある色きりのハいふ及バどあるハ庭の
 垣をかし榻札の板を張りつが國ならん木を用
 う色きとくとも木ハ甚ど之くあそそ價安く
 漆の細工は次第ふ巧みふあそりよく便利の法
 を用ちちをりつたヤをく作る色き板ふ漆ふ
 ハ大海を乗りつらる船さく漆ふて作りたる方
 木よそハ下垂ふて出来るやうふあそ又軍艦ふ

ハ漆板厚く張りて敵の弾丸を防ぐやうふま
 ちど中く一とくやめら速べらとぬ程あまバまく
 手磁石のまくあるものをもとめあそいハ吹き
 つけちりものあそいハ練りある物等を出せそ
 うとよ瑞典甸加利弱乙魯西亞等も出ふりつと
 ち多し

漆の出品の大きあるものハさしやと一教尺のま
 るき板厚き数尺の四角ある板あるハ棹とあ
 ちらもの又ハ孔をあけちどして折色はこ
 ちのさぬ板ふあるハ板があるハ漆はあ

さしハ繩なわの如く絢あざの如く紐ひもの如く組くみ工こうあるひハ繩なわ
の如くあゝまどして其よく燐ほたる餅もちしてむらあく
漆うるしを脱ぬろくぬを示しあるひハ厚紙あつぱやどの薄うすき
板いたとあし又ハたしこして折手せて本ほんの如くあし月の
燈あかりて強たりぢぢとあして至自在さいざいを示し磨こきく札は
理りのこまあるを示し極ごく上じやうの磨こみたるもの
ハ眼まなこの如く見ゆるもあて漆うるし及および用もちうるものハ
或あるひハ長ながきやふて漆うるしの如くかけあらるべ或あるひハ
切きあらしハ折せりて小口せうくちのきぬを示し曲まげ撓ため
て脱ぬろくぬを示し英國えいこくの出で品ひんふら漆うるしのたりか

ねを極細ごくさい母ははひき金かねモールモール小用せうよううるもりぢぢのや
との太おときふして毛けもややくせしもあり佛ぶつ
蒙もう西せいの出で品ひんふらさしやこしハ八尺九寸一分厚あつさ
五分三厘ごぶんさんりんのきもき板いた長さ五丈二尺八寸幅あ五尺
二寸八分の板いたあり英國えいこくの出で品ひんふらさしやこし
六尺ろくしちむらじの丸まる板いたあり
英國えいこくのアルムストロニグとコムメルとの社中しゃちゆう
の出品しゅていひん野の別べつは一軒いっけんの家いえをたてくらみつら
祐すけありいづも大おほある漆うるしの製せい造ぞう所じよホして軍艦ぐんかん
をおよぶ漆うるしの板いたありひら大おほある砲たうあしを

出せりそのつとも驚くべき幅二間二尺九寸
 高さ一間一尺三寸二分厚さ八寸九分重さ七百
 四十七貫目余の一枚板ありて軍艦の弾丸受け小
 さるりのあり板軍ありハ甲法
 獨一のクロッパより人の製所もまゝ歐羅巴
 名高きものありうれすと正堂のうらみ別
 一軒の家を建てその製所より清立うる大
 砲又ハ船に用うる蒸氣機械の太き棒あぐをつ
 らぬしづまる大ありのありその棒の板
 鋼の板あぐ棒とあり

燠地利の多し其の産物
 其後板をわりち出品しちらあり
 其餘を令很鋼あぐの如き通用金ともあり又種
 の道具も作り飾りに用うるものあり
 り潤の如きあぐてたありぬりの鉛亜鉛湯水砒
 あぐの産物ありの白鉛コバルト、ニッケル、アニ
 千モニーあぐりありのを出せる皆礦石のまゝ
 あるをもちとせよ吹やあぐりのをもちぬこ
 とも鋼鉛あぐりありハ薄き板とありあり
 ハ塊めて出品しありハ棒とあり又獨りあり

ハ蒸氣車を能るがた先よとてうすのべたる銅
 の板を出し支那よりわ礪石状ふらとたる鉄の
 礪石を出せり

英國の屬地の新よ金の塊を掘り出さたり
 そ内りつとも大あるハ一ツあく目方十七貫九
 百十八匁あるあり兩三年前よ十八丈の深さの
 とららよを掘出したるものとり小あるもの
 も九貫目余ありうれハやづら一丈五尺むら
 掘りて得ありといふりむもまぢりあき金
 して其光りもかまぶ

海山石塩加利塩等ありて海より出づ
 る塩の出るはづきもわが國おて常小用うるも
 の如く廉相あるものありて白くしてあま
 く赤穂塩の如きものあり塩ハ獨乙、鹽地利より
 出るを以て利のものハ水晶のごとく結ばたる
 ものを出せる旬加利のものハうれふと塔の如
 きものを能りて出し又その如きよ石塩を
 掘る礪山の孔のうちのもよきを雜形ふりたる
 ものを出せりまぶて石塩あく能りたるものか
 り掘りけたるところよ孔のうちよ布きたる

瑛とうだう乃なりきぞよほ瑛ほりたる石せき瑛えんを車くるまよつつこの瑛えん乃なり
 の上うへを運えん送そうするところ瑛ほてて居ゐる人ひと足あしさしし居ゐるを
 まる人ひとみりみうるやで一いつツつとと石せき瑛えんふあらざ
 るものああ一人ひとの大きおほさハ曲まが尺せき一寸いちむむのりあり
 其餘そのあのものハ大きおほさハはれふふややててちちううり知し
 るべべ一いつ其その細さい工こうのこ際ぎわあるハはりかかよよももおおよよババ比ひ
 其その色いろ白しろくく一いつ透とお通とり水すい晶しょうふふてて作つくりたるもの
 如ごとくごと實じつはは熱ねつききものあり又また澳おく地ち利り南なん方ほうの郡ぐんよ
 ぞ出でせるものものうちうちはは金かねく石せき瑛えんふふてて大おほなる家
 の如ごときものをもの作つくりたるああをを榻た机きかかどどううか石せき瑛えん
 かり白しろくく一いつ透とお通とり日ひの光ひかりりてりかかゞゞ伊いささあ
 きややとと英えい一いつききくくいいもんもんかかととかか一いつ水すい晶しょう宮みやうとも
 いいかかべべききものあり
 又また英えいの属ぞく地ちの部ぶハ幅はち二に尺せきは方ほう高たかさ五ご尺せき程ほどあり
 石せき瑛えんあり外ほかの國くにのものものと違ちがいいささくくああ赤せきここを
 帯おびててああめりめりををふふららととたり
 硫い黄おうの出い所しょハ処あくくふふるるええたり希まれ羅ら土と耳じ其その埃あ及及び
 ロロ一いつママニニヤヤ等らみみももありありくくふふ以い太た利りハ硫い黄おうを
 多くおほく産うむむるところところああままババ其その出い品ひんももおおままぶぶ多たくく
 九くそ硫い黄おうハ岩い硫い黄おうととて岩いの如ごとく塊かたまりりたる又またハ

管の如く小樽多る、あるはハ粉ふーたるあるハ
 ハ花の如くよーたるおどあり以太利のテラモ
 ーレ、ナターレといふ人の出所、地利帝の半
 身像をまことの人のよそいさく、あ大きく作りた
 るあそ全く硫黄ふて作りたるものあり、地利
 の新ふハ火山の雛形を作り硫黄ハその山の巔よ
 そ谷へかけて流るいづるうぬを示せるあり
 その外山よそ出るものうち磁石中へ石ハ以
 太利、匈加利、希備等より出品、支那よりハ磁石
 の氣味ふらこたる、漢の礦を出し、沙水晶、紅粉、石

サントス 硫黄 リット 硫洞 スウエーヘル おどいふも

の其数を知く、化石の類も諸國よそ出せ、地
 利の新ふハ木の葉の化石、換あり、土耳其の
 のハ大むの貝の化石あり、匈加利のものハ金を
 ふらこたる化石、鉛をふらこたる化石等あり、地
 利の新ふハ土中よそ掘り出たる古物をつ
 らねたるあそ昔のあまの類の齧りてそ形ち
 さだりよわのらぬもあそあるハ、数千年前の
 鬮、熊の骨、そ外種々の動物の骨、おど又女の子
 の骨、おあまの輪のうそ、あそあそ女王の

手かりといふ莫吉利順印度の出品印度の古物
 の内小石小板りたる佛像あまゝあり其形ちハ
 をあまゝぐわが國のもの小似たり觀音の如きも
 不動の如きも其他諸佛諸菩薩小似たりもあま
 いづきもあまゝぶらき物を去中より出
 したるもの見えたり

石の類も諸國の出品點英國よりハ石盤スト
 あまゝを出世せしもの内高さ一間余幅九尺むら
 り厚さ一寸五分分不があるあり兩面平らう小
 て凸凹あく漆ふて艶滑しふぬりたるが如しあ

くの如きものハ石の大なる小致くのものあらば
 其石切リ道具のよきもおる小べし

大理石といふものあり英はマーブ茶色あるも
 あり崩色あるも其外白きもの悪きもの白くし

て悪き紋あるもの又ハ悪き星あるもの瑪瑙の
 如く地ハ白くして赤き紋あるものかどあり西

洋ふてハ板柵板札の上面等其外家の飾り小多
 く大理石を用うる紋ふられきも諸方より出

せし其大あるハ長さ数尺ふして切出したるま
 まあるもあまゝ又唾一方紋磨きく鏡の如くあ

三方ハ切りたるまゝ少てその石の質を見せし
るあり

希獵ト名出所トたるものハ其國ハ産するもの
少くむらゝ名なき職工ニかゝるを以て家を建
て彫物おど不用ぬたるもの由其うち悪きもの
の七種白きもの七種さぬぐの色変りたるもの
十八種まべて三十五種あり其内スキロといふ
島ハ産するものをもつともよゝと名なきもの
セラコニーといふところより出づるものあり
その他多くもハラクサトといふ地より出づ長

サハ大ていニ丈さう又ハニ丈六尺余あるあ
り千ノ一といへる島より採り出さるもの青き色
の石ハ長さニ丈三尺よるニ丈六尺余といふる
幅ハ一尺三寸余より二尺をりあり

学校おと礪山の學を教ふる所用するものハあ
るいハ口寸口方六面小切り其出所と名をを書
きたら紙を張りあるいハ五寸口方あつさ二寸
むの字小揃へたるもあり又片隻のまゝふて示
せらもあり奥國の教ふら自國の山ハ産するもの
のふと世の入用おふるものをあつめ政府よ

リ出品一たり
 又リソグラフィーにて繪圖エッチング又ハいろくの繪を石
 ふ書きうれは薬くすりをぬりて銅版赤どの如く摺り
 出きあり版にて石うれは用うる石ハ肌理きりきハ
 めてこまろふして水みづの赤とくむ性質あるもの
 ふあらざれば用をなさざら石版ハ赤十二区くのも
 の赤きともうれは用うる石のこハ赤区は出
 くるものもあて希撮きりの部よこの石を出し
 めの二人ありその石ハうまを黄きいろ色ふしてわり
 困くわんの利り口くち磁じの如く乾かくして肌理きりい
 たらてこま

ああるものあり

挽白ひきうしろハまきハめくゆゆきものよあざざれば用
 たちぐぐき由ゆ白しろハ赤二区くのものあり
 小用うる石ハ赤区のものあり開拓あいたく使しハ産うふ
 ありたるドクトル、アニチセルといふ人の信しん
 ふ日本あぐハ由ゆ新しん石いしなどをとつくとつとも堅か
 きものときまざらぬみくハ白しろハ赤あかりか
 一ひとそ外ほか今いまやを挽白ひきうしろふして用お赤あかき
 石いしハ赤あかりか
 づりふして決けつして白しろの用ふハかかハざざ
 ども日本の山ふハこの用ふ立つべき石いしハ赤あか

むあるべしといへる由ちおとふよりてうよ
あるを

孔雀石ハ魯西亞の岩産と見えて大小いろいろあ

りあるハ塊りのまゝあるあるハ板の如く

小ありあるハ紙の如く薄くあり又られあり

種々物状作りたるあり九区あり

佛系西の出るハ幅五寸余長さ一尺をうり厚

さ五六分ほどの薄板あり又金剛石英語ニダイヤモンド

もの擬造あり幅三寸余長さ二寸五分ほどあ

り毛氈毛織物色の巧わざとあることとやことものうと

思ふむありあり又煖地利の類ハ水晶かどの

如きいろいろの結晶物を擬造したるものを出し

亜米利加の合衆國より孔雀石瑪瑙以外の撰

あましを出せり

勾加利の出るよオパールとりあるあり水晶の

一種ありられハ其國のシブニーとりあるところ

ふ高さ二百五十丈より二百丈ぬある山ありて

但し海の水面よりその岩ハ其山の岨より取

りたる言さあり

出そののありられを望むる山ハ世界中にたゞ
は地ちのよあまはととらられを貴む由勾加利

あく英石よ掛りて活業をあまもの三百軒あり
英石ハ其質りつらつて堅くして脆く鉄易き
ハこれを研ぎ磨くるいたつてむらりといふ
は夜の博覧會よ出ぬ一たる人ハゴルドスミット
ロイスとりふ人あくこの石は種数あまことあつ
めく見せざるものハ今やあき事たむは礫山
の學士地質の學士あどよハ大よ益とあまなる
あり

才三世拿破倫の彫物彫キユイルマルといふもの
ハ英石あく博地利帝と后との像を彫り種々の

あつて飾り外を彫り全く旬加利の味ふ彫り
たり英石名他あり

き外英石の面白くあつて婦人の耳
飾り指輪又ハ冠り物のかぎとあつたるあど
ハ英石きり中く言葉よ速いありんた
價十方フロリン
六子母花の標かぎりあどハ

世の人の兄刺きさるものありあつる石とこと
ふ英國と亞米利加の合衆國とよ輸出するもの
あり

ローマニヤの琥珀ハ英國の名産ふしてを造る

つとも英一されどもこれを取らざるは定りたる仕
 方あるふあらき世止あて黒流殆と称するもの
 ハ英國のヒュスキユとりふところより出づ時侯あ
 たりこのよあるは高山の雪解け下るとき種々の
 礦石鉄等の物よりとりてともあ下り平地ふ押を
 き来るを道迎の出人これを持ひあつむとりあ
 きるを喜きあ里業あるあ里青あきあ里黒とが
 ちあるもありこれあて作りたる巻烟葉入襟飾
 耳飾あど皆あきさものあり
 地質学はゼチロといふは世界の地の下ハいこのあ
 るものあるやといふ事地学は学問ふて地の
 下ぬれ土ふかあものをあくとたる礦石あるい
 ハ石炭あど相なるを次才噴序ををドめと
 といふよりてそ業あるきぬのりああるさ
 研へ今の変化等あきあよとて知るべしきてこ
 の山の地の下ハいりあるものあるべきあ
 の山を掘きばうやうある物を得べしあど考ふる
 もかあらず地学ふするものあきハ礦山の業を
 心がくるものゝ知で叶ハぬ業あは極よ諸は
 ともし地学よ心を用おあるいハ政府もあつ

とめく世俗をさるる山あり

澳地利獨て、匈加利魯西亞、以て大利等の諸國いづ
きも政府の礦山學校より地質學よかりたりた
る地界を出品したりま界りりくありてよよ
り見たる界山をたてよ切りて種々の土質相を
ありたるありさぬを示せるもありよよ見えと
る界ハこの辺よりハ石炭を出しこの辺よりハ
銅をとりハ硫黄をとりこよりハ硫黄を出とあど
色分けありてひとめよわつるやうよせりたと
へハ岩石のとりらハ灰色よ彩り石炭のとりら

ハ茶色烟土を黄褐色をさるる界ありよよ色わ
けの合あるしをせし見合ハせて知るやうよ
せり山をたてよ切ある界もとの如く色わあよ
したまハ某の山の石炭の蔓ハらのとりらよ
てハ高くありて地面近くをとり某のとりら
まぐら松りて次第よ低くあり地面より幾十丈
ふいよりてをよめて石炭の蔓よとくあど速
ふ知らるやうやうよせり又瑞西の部よて平面よ
常の如く地界をかきよよ硝子の板が一枚も
あつてよとれよ地の下の土質のいろくを

りたるさぬをまじらぐよあはせし画きたり
 又黒き板に朱あて地畧を画き長短りらある
 計金をいくばくもかくまよはす其画またて又細
 き計のひめてその上紙つおぎ合せし山のよの
 地面とあり中途をも又計金あつたおぎ合せし
 質をあるしたるをせざるものもあまらぬハ
 かりのものふねあらざるもそのさうらぐの
 去質いふもさうらぐよ知るしあり其外諸國の
 人々地質の畧を出品したるものあまらぬ
 典もまじらぬの出品あり諸國の出品ハ京都キリ

スチヤナとりふららの遊遊の去質をわきた
 る畧をせざる一枚ハまよとのりのさ二分の
 一ふして一枚ハ一万分の一あり其國の南の方
 の地の去質をあらハしたるものハなれまよ二
 万分の一あり白耳時の人も自國の去質の畧を
 出せし右等いづれも大ていかのまよの國の
 去質をあらハしたる畧あり北亞米利加の合衆
 國の學校より出せしものハ世界熱地の去質を
 あらハしたるものあり澳國政府の出品ハ石
 炭の蔓のこを書きたるしたる畧あり

其外英のヤートンといふ人ハ石炭山の雛形を
 出シ瑞典よりハ其國の石炭山の形を以テ礦山
 を掘ル業といひたりてハ白耳時澳地利魯西亜を
 外諸國よりあるハハ匈ふーあるハハ繪ふべき
 て出せし魯西亜ハハ炭石を出品したる人こそ
 多し魯西亜人ハ又礦山出て人のをもとらきて
 居るさぬを写したるをあきこつてねたり
 匈加利よりハ礦山の写しを多く出品したり
 礦山の業を志がきたるもの右の如くさぬくわ
 きども大要をいへば孔のうちふく岩が打崩し

取出ささぬ測量をかして孔のうち小道を掘る
 さぬ地形をあらし積たを掘るさぬを以テ掘取
 たる礦石を車よつて孔のうち積たを運漕
 するさぬありハ階子をより下りするさぬ溜
 りたる水をホムフみく掘くさぬ流をいきてお
 らたる孔をつくるさぬ孔の壞まざるやうに柱
 をたておへ杭を設けおくるさぬまんりきお
 どのやうある仕掛あり積たもあつたき孔より
 礦石を引上げるさぬ又炭仕掛あり人をもよけ
 たりさぬさぬ等あり孔ハ大てい真直細く

掘り下ごし教丈の深きよいいたる故に掘出た
 る礫石ハさうらあり道具を持ちこむ人も人の上
 り下り小ぎんかやうある仕掛を用うるあり其
 仕掛ハ左右ニ臺ありてこれニ太くして丸き棒
 をかけ臺の外ニ出さるるところニ柄をつけおき
 これをさすのせむ掛もさすのやうに掛よの
 き綱をまきつけまをくに物を結びつけ掛のま
 ハるよはひ上げおろしをさるるあり人又ハおもき
 もの上げおろしをさるるふハのやうある車を
 急ぎおろすのさあり但しさかど高うさして

勾配のありとくらハつみの階子を用うおよそ
 孔の中ハ暗夜のどききりのあきバもくらきを
 かりよハ燈をつけてくらし燈をもちも人毎
 小燈をもちつみあきどもとの塞がぬためハ物
 よつくるありまきぬもよしたるさそ又礦山
 のくらよハ種々火子きりのもあはあきバ昔ハ
 火燈一火よをもちけをもちけをもちけをもちけ
 ざりりきバ先年安全燈とて火のえ花ふのうぬ
 燈一火を焚ゆられし火燈ハあきやうよ
 かりたり安全燈ハ奥地利の出るあり又孔のう

ちハ空気が入りしるゝを又よき空気あつてもせ
 まきうちよ多人教入りしむ放ちたちち吸る
 してありあり人のため其さあしきバあ
 らしき空気を入る 仕掛行要あり 英儀にて
 白耳時よりこれを出ふしなり
 其さ溶けぬきものあく火弱もきバ十分
 溶けぬされバこれを溶うを仕掛めつとも行要
 あるものありを仕掛のしありよらて誘
 もうしありいれふよりて熔液焼ふハ諸國
 心を用ぬそのおのまじくの用うるものを思ふし

雛形にして出ふしなり英國よりその雛形と
 を出し魯西亜よりその雛形と写しよとを出し
 匈加利等も雛形を出せり
 道具の類ハ岩を穿つ雛形の鉄先の尖りたる
 あらひハ鑿の如くあるあらひハ丸雛の形ちを
 ちしたる雛の如くもありたる等種々又雛を用
 する時補けしあり其さあまべきりのあるハ
 岩を打かくつたをよ用うる雛の鉄あらひハ車
 仕掛めく岩を穿つ機等あり
 此区めく才一等の産受を受ある教ハ十五

一箇ふし〜左のふしあり

一獨^ど立^り普^つ魯^ろ斯^し政^{せい}府^ふ伯^{はく}靈^{りん}地^ち質^{しつ}學^{がく}校^{こう}の質^{しつ}を色^{いろ}分^{ぶん}けよして示^ししたる事^{こと}及^{およ}び産^{さん}物^{ぶつ}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い同^{どう}國^{こく}政^{せい}府^ふ商^{しょう}法^{はふ}事^じ務^む官^{くわん}石^{せき}塩^{えん}及^{およ}び其^{その}外^{ほか}山^{さん}よりの出^でる^で産^{さん}物^{ぶつ}鉄^{てつ}并^{なら}熔^{よう}礦^{くわう}爐^ろ二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い同^{どう}國^{こく}ウ^ウス^スト^トハ^ハー^ーレ^レニ^ニといふところの^{ところ}人^{ひと}ボ^ボフ^フメ^メル^ル、^スラ^スイ^イニ^ニといふ^{いふ}人^{ひと}礦^{くわう}山^{さん}の^の業^{ぎやう}及^{およ}び^い精^{せい}練^{れん}を^を作^{つく}る^る事^{こと}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い同^{どう}國^{こく}の^の人^{ひと}ク^クロ^ロッ^ップ^プフ^フリ^リー^ート^トリ^リッ^ッフ^フエ^エといふ^{いふ}人^{ひと}精^{せい}練^{れん}の^の細^{さい}工^く場^ば及^{およ}び^い鉄^{てつ}の^の大^{たい}錠^{じやう}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い同^{どう}國^{こく}マ^マン^ンス^スス^スル^ルト^トの^の鋼^{こう}製^{せい}造^{ぞう}會^{かい}社^{しゃ}鋼^{こう}製^{せい}造^{ぞう}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い獨^ど乙^どサ^サキ^キソ^ソニ^ニヤ^ヤ國^{こく}フ^フラ^ライ^イベ^ベル^ルグ^グといふところの^{ところ}熔^{よう}礦^{くわう}所^{じょ}移^{うつ}り^り混^まじ^じり^りたる^{たる}金^{かね}の^のを^を吹^ふか^かす^す仕^し掛^か二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い奧^{おく}地^ち利^り國^{こく}の^の全^{ぜん}國^{こく}鉄^{てつ}道^{だう}會^{かい}社^{しゃ}礦^{くわう}山^{さん}の^のわ^わが^が熔^{よう}礦^{くわう}の^の業^{ぎやう}等^{らう}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い同^{どう}國^{こく}ボ^ボエ^エミ^ミヤ^ヤの^の人^{ひと}ス^スタ^タル^ルク^クジ^ジョ^ョン^ング^グス^スツ^ツト^トといふ^{いふ}人^{ひと}山^{さん}よりの出^でる^で産^{さん}物^{ぶつ}二^に付^つ一^{いつ}箇^こ

一^い白^{はく}耳^じ時^じ國^{こく}の^の都^とブ^ブリ^リュ^ュセ^セル^ルといふ^{いふ}所^{ところ}の^の人^{ひと}カ^カウ^ウド

ロシヤ、シヨセフといふ人、鑛山に孔を掘る新法を
夫も付一箇

一同國マリーモンド及びバスコープの社、石炭
を掘り出さずも付一箇

一魯西亞國ニスキニー、タギルスキといふ所の
人デミドフ、ハウルといふ人、鑛の細工場も
付一箇

一瑞典國の人二十三、人あつた、そのうち、鑛の製造
も付一箇

一英國の領地、東印度の地質測量局も付一箇

一佛蘭西國の都パリ、スの人ラズニス、シエル及
びフェルといふ人、鑛の製造も付一箇

一以右利のカグリヤリーといふところの鑛山
會社、錫、鉛等の出品及び果取も付一箇

其外、此区、みく、亦二、三等の、鑛業を得、多、数
の、百、六、十、二、箇、あり

博覽會見聞錄卷之一終

